



## 【巻物の中での役割】

## 【鍵語、対語】 四分割のことは

腐っている（乱れている、滅びている）、善を行う者なし  
愚か者、悟りのない者

## 【旧約の連想：ストーリー、契約、十戒・・・】

"主は、地上に人の悪が増大し、その心に図ることがみな、いつも悪に傾くのをご覧になった。" 創世記 6章5節

"そのとき主は、人間が建てた町と塔を見るために降りて来られた。" 創世記 11章5節

7節：バビロン捕囚からの回復

## 【新約の連想：引用、型、主の祈り・・・】

"「義人はいない。一人もない。  
悟る者はいない。神を求める者はいない。  
すべての者が離れて行き、だれもかれも無用の者となった。  
善を行う者はいない。だれ一人いない。」"  
ローマ人への手紙 3章10～12節

ローマ3章：くちびる、舌 — Ps5, 10, 12, 14, ヤコブ3章

神があなたに陣を張る者の骨を散らされたのだ。あなたは彼らを辱めた。神が彼らを捨てられたのだ。 詩篇53篇1～6節

Gen 6:11 時に世は神の前に乱れて、暴虐が地に満ちた。  
Gen 6:12 神が地を見られると、それは乱れていた。すべての人が地の上でその道を乱したからである。  
Gen 6:13 そこで神はノアに言われた、「わたしは、すべての人を絶やそうと決心した。彼らは地を暴虐で満たしたから、わたしは彼らを地とともに滅ぼそう。

Gen 9:11 わたしがあなたがたと立てるこの契約により、すべて肉なる者は、もはや洪水によって滅ぼされることはなく、また地を滅ぼす洪水は、再び起らないであろう」。

Gen 19:29 こうして神が低地の町々をこぼたれた時、すなわちロトの住んでいた町々を滅ぼされた時、神はアブラハムを覚えて、その滅びの中からロトを救い出された。

"主は、アブラハム、イサク、ヤコブとの契約のゆえに、彼らを恵み、あわれみ、顧みて、彼らを滅ぼし尽くすことは望まざり、今日まで、御顔を背けて彼らを捨てることはなされなかつた。" 列王記 第二 13章23節